



建築設備技術遺産

認定第 36 号 明治天皇 6 号御料車「大和型」

鋳鉄製暖房用ラジエーター

管理者：博物館明治村、昭和鉄工株式会社

所有者：東海旅客鉄道株式会社、昭和鉄工株式会社

申請品は鋳鉄製蒸気式ラジエーターで、明治 43 年（1910 年）製造され、博物館明治村に保存展示されている明治天皇 6 号御料車（お召列車）に設置されている 4 台と、同時期に製造された予備品 2 台である。

2018 年に明治村に保存展示されている 6 号御料車を調査した際（一般公開されているが内部は立入禁止）に、1910 年の製造・納品と記録にあった鋳鉄製ラジエーターが侍従室に設置されていること（1 台）を確認し、残り 3 台は中央御座所と他の侍従室への設置を図面で確認した。目視調査ができた鋳鉄製ラジエーターは、保存状態が良好で、発錆は一切確認されず、いぶし銀風のくすんだ鋳物肌に鮮やかな金色の菊紋が浮かびあがっていた。輸入品が主流の時代に、御料車への採用は国産の最高品質の証であり、御料車への採用ということで、第二次世界大戦中の金属供出を免れることができたと思われる。

6 号御料車に設置された暖房用ラジエーターは、昭和鉄工株式会社の前身である斎藤製作所に特注されたもので、「大和式」と称され、仕様は鋳鉄製の 3 柱 5 節の蒸気式である。外形寸法は幅 28 cm × 奥行 35 cm × 高さ 50 cm で重量は 46kg である。正面に金色の顔料で彩色された菊紋と「SAITOW'S PATENT」の鋳刻、そして創業者の斉藤一のデザインと言われる花葉装飾が施されている。

6 号御料車は、明治天皇（在位は 1912 年まで）用として 1910 年に鉄道院新橋工場で製造された国産車両で、内装・外装ともに歴代の御料車の中でも最も壮麗なものと言われている。

蒸気式ラジエーターは、申請品と同時期に日光金谷ホテル（1914 年～）、奈良ホテル（1914 年）に全館暖房用として使用されていて、その後学校、病院、役所などで多く使用

されてきた。設備機器は改修とともに撤去・廃棄されてしまい、特に戦前の設備機器の現存は非常にまれである。申請された鋳鉄製暖房用ラジエーターは、明治期の貴重な設備機器であり、その姿がとても美しく、建築設備技術遺産に相応しいものであり認定するものとする。

